

みんなの らいふ

前橋市自立支援協議会広報

みんなのらいふ 第38号

発行日 令和7年5月15日

発行元：前橋市自立支援協議会

問い合わせ：前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会

広報啓発部 事務局

電話 027-220-5711

FAX 027-223-8856

URL https://www.city.maebashi.gunma.jp/kenko_fukushi/4/10/1/11867.html

【題字】三森 英範さん（ピアーズ利用者）



みんなのアーツ(作品紹介)



題字・作品を募集中

本紙に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本紙に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙に記載してあります）へお気軽にお問い合わせください。

次回の作品応募締切日は6月28日（金）です。

【作者】林 昭浩さん

【作品名】野菜の惑星たち

【作品説明】惑星を野菜に見立ててシールアートの表現しました。太陽の色を少しずつ変えるのが難しかったです。





【プロフィール】

前橋市出身、前橋市立山王小学校卒、前橋市立第七中学校卒。現在、群馬県立高崎高等特別支援学校生産園芸科2年。自閉スペクトラム症。高校1年生のときは、音楽クラブに所属。

【青い鳥に通い始めたきっかけは？】

「ふれあいゆうあい交流フェスタ」のステージを見て、歌っているみんなが楽しそうだったので、私も一緒にやってみたいと思い、青い鳥に入りました。

【どんな活動をしている？】

青い鳥は、障害の有無に関わらず、どんな人でも音楽を楽しめるサークルです。今は、5歳の子から働いている大人まで、幅広い年齢のメンバーと一緒に活動しており、童謡から流行りの曲まで、様々な歌を歌ったり踊ったりしています。また、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、ハンドベルなどの楽器演奏をするなど、歌以外にもできることがたくさんあります。

【やりがいを感じる時はどんなとき？】

青い鳥では、年に数回、音楽会があります。音楽会に向けて、20曲ほど練習するのですが、一生懸命練習した歌やリコーダーを大勢のお客さんの前で披露して、「上手だったよ」「すごく良かったよ」と言ってもらえたときが一番嬉しくて、やりがいを感じます。

【活動していて一番記憶に残っていることは？】

初めて音楽会に出たときは1人で歌うことができませんでしたが、青い鳥で楽しく歌っているうちに、大きな声が出せるようになりました。そして、青い鳥を知るきっかけになった、「ふれあいゆうあい交流フェスタ」に参加し、ステージで歌うことができたことが1番記憶に残っています。

【今後の目標は？】

ギターや琴、ピアノなど、色々な楽器に挑戦したいです。また、得意な手話や、リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をして、ボランティアとしてみんなのお手本になりたいです。

【読者に一言！】

平日は学校や放課後等デイサービス、土曜日は青い鳥、日曜日は家族と過ごす時間と、毎日充実していて楽しいです。青い鳥は、みんなが楽しめる場所だと思うので、ぜひ一緒に歌いましょう！



「令和6年度前橋市自立支援協議会」の活動報告



前橋市自立支援協議会では、年間を通じて各種会議を開催し、障害福祉における地域課題の解決に向けて活動しています。今回は、令和6年4月から令和7年3月までの活動について、部会活動などを中心に報告します。

地域生活支援拠点整備部会

障害のある方が親なきあとも地域で安心して暮らし続けるためには、今のうちに頼れる先を増やしておくことが大切です。このとき安心ネットまえばしにおいて最も重要な役割を果たすのは、入り口としての「相談機能」です。相談を受ける側が安心ネットまえばしを正しく理解し、必要な方に適切なタイミングで案内できる体制を整えるため、改めて市内の全相談支援専門員を対象とした研修会を実施することとなり、その開催方法等についてワーキンググループで検討しました。研修会は2回に分かれて実施され、その結果を部会で共有しました。

その他にも、緊急時に支援が必要な方の登録状況や個別緊急時対応シートの作成状況について共有し、安心ネットまえばしが有事に機能する体制が整っているかどうか検証しました。

就労支援部会

前年に引き続き、3つのワーキンググループ（WG）に分かれて活動を行いました。

就労支援広報WGでは、前橋商工会議所のメールマガジンに依頼し、障害者雇用に関する様々な情報発信を行いました。みつけブース準備WGでは、ハローワーク前橋主催の就職面接会に「みつけブース」を設置し、過去の活動で作成した「障害者雇用相談先みつけチャート」を活用しながら、事業者及び求職者へ支援機関の周知等を行いました。自立研究WGでは、障害者雇用の先進的な取り組みを行っている企業の視察を実施し、障害者雇用における課題や、促進のために部会としてできることは何なのかなどの研究を行いました。

こども部会

こども部会にて、障害児をとりまく環境等について検討し、課題について協議を行いました。課題に対して、11月18日に「前橋市療育ネットワーク推進会議情報交換会」を開催しました。「発達に気になる子への支援について話そう」というテーマのもと、市内の発達支援事業所・保育園所・相談支援事業所・こども支援課保健師等を対象に、42名が参加し、実際の現場で困った際に利用することのできる事業や、その利用方法、目的について理解を深めた後、各グループに分かれて、情報交換を実施しました。

参加者からは、日頃の子どもへの対応で悩んでいることなどを共有できて良かった、こういった情報交換できる場所を求めているという声が多く聞かれました。令和7年度以降も引き続き、情報共有や連携を図るための機会や方法を考えていきます。同様にこども部会で主催の医療的ケア児等支援のための連携推進会議も引き続き開催予定です。

手話施策検討部会

令和6年度は、①手話教室ワーキング、②ろうあ者体育大会あおもてなしワーキング、③防災ワーキングの3つのワーキングで活動を行いました。

①：救命救急隊員向けの手話研修会の内容やコミュニケーションボードの見直しを行いました。9月に行われる全国ろうあ者体育大会に向けて、怪我や熱中症に特化した内容の研修を実施し、万全な対策をとることができました。

②：全国ろうあ者体育大会で全国から集まるろうあ者をおもてなしするために、飲食用と宿泊施設用のコミュニケーションボードを作成しました。事業者からは「こんなボードが欲しかった」「スムーズに会計ができた」などの意見があり、一定の効果が感じられました。

③聴覚障害者向け防災マニュアルを作成しました。日頃の備えや災害時の対応に加え、地域の皆さん（一般支援者）へ向けた情報も掲載しました。地域の皆さんへのページでは、聴覚障害者の障害の特性や配慮するポイントなどを知らせる内容としました。今後の活用法についても検討していきたいと考えています。

地域移行・地域定着部会

精神障害のある方が地域で安心して暮らすためには、地域の理解や関係機関・関係者による連携が必要であり、地域福祉の推進役たる民生委員児童委員や生活の基礎を支えるグループホーム及び支援者の存在は欠かせません。

令和6年度は、地域における支援体制強化を目指し、グループホームに所属する支援者を対象とした研修会を2回、民生委員児童委員を対象とした研修会を2回実施しました。支援者間における顔の見える関係の構築、現場で実践する支援者の声、ぴあサポーターによるリカバリーストーリーなど、支援力向上や精神疾患及び精神障害の正しい知識や理解を深める機会となりました。

広報啓発部会

広報紙である「みんなのらいいん」を年度中に3回発行し、障害のある方の活動や本協議会の取り組み状況などの情報について、皆様にお届けしました。

また、12月には「第13回みんなのフェスタ」を、前橋元気プラザ21で開催しました。ステージ発表や作品展示では日頃の活動の成果を発表、体験コーナーでは多くの方に参加をいただき、障害のある人もない人も共に出会い、交流できる場として充実したイベントとなりました。



「令和7年度前橋市自立支援協議会」について

前橋市自立支援協議会では、「障害のある人が地域で普通に暮らせるまちづくり」を目指して、障害当事者団体や相談支援事業所、医療・保健関係者などが協議を行っています。 《組織図案》

全体会（年1～2回開催）

委託相談支援事業所やサービス事業所、医療・教育・就労などの関係機関が集まり、地域課題の共有や対策の協議を行います。

運営調整会議（4・6・8・10・12・2月開催）必要な時は、別途開催

自立支援協議会会長、委託相談支援事業所、障害福祉課、保健予防課で協議会全体の運営状況を確認し、方向性を検討します。

定例会議（5・7・9・11・1・3月開催）

委託相談支援事業所や関係機関が集まり、相談事例の検討を行い、前橋市としての課題を分析します。

特定課題会議【専門部会】（毎月または随時開催）

自立支援協議会の委員や障害福祉課、保健予防課により、前橋市における分野別の課題について整理し、解決策を検討します。

地域生活支援拠点部会

就労支援部会

こども部会

療育ネットワーク推進会議
医療的ケア児等支援連携推進会議

手話施策検討部会

広報・啓発部会

地域移行・地域定着部会

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のための協議の場

ワーキンググループ（随時開催）

部会で整理した課題について、具体的な解決策を専門的に検討します。

事業所紹介

令和6年度に開所した障害福祉サービス事業所（日中活動）を紹介します

サービス種類	事業名【申請者】	所在地	電話番号
生活介護	障がい福祉サービス事業所 太陽 【社会福祉法人 前光会】	〒379-2114 前橋市上増田町57-1	027-266-0222
就労継続支援（A型）	ナ・セバナス 【就労継続支援協会ナ・セバナス株式会社】	〒371-0804 前橋市六供町四丁目9番地5	090-3915-6460
就労継続支援（B型）	前橋市多機能型事業所こころ 【前橋市（社会福祉法人前橋市社会福祉協議会）】	〒371-0014 前橋市朝日町三丁目21番14号	027-212-1351
就労継続支援（B型）	HAPPILY. 【合同会社一綺】	〒371-0113 前橋市富士見町田島258-1	027-212-4760
就労継続支援（B型）	就労継続支援B型事業所 しろはら 【特定非営利活動法人 しろはら】	〒371-0122 前橋市小坂子町711番地2	027-212-0548
就労継続支援（B型）	リハスワーク前橋 【株式会社リハス】	〒371-0801 前橋市文京町四丁目18-22	027-212-9152
就労継続支援（B型）	YouMay（ゆめ） 【一般社団法人 あびりてい】	〒371-0855 前橋市問屋町一丁目4番2号 富田貸店舗東	027-215-5141
自立生活援助	自立生活援助 ほなみ 【社会福祉法人協同福祉会】	〒371-0811 前橋市朝倉町842番地1	027-212-3023

編集後記

桜花爛漫の候、皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。例年にも増して寒暖差が激しく、その上にインフルエンザウイルスに日本では撲滅されているといわれていた麻疹が群馬県の東毛地区の海外渡航者よりみつきり、感染症対策に気を抜けない昨今ですね。花粉症に加え、黄砂が飛来して体調を崩されている方も多かったのではと思われます。くれぐれもご自愛ください。（飯塚 敦子）

今回は令和7年9月1日に発行予定です

